

トンボの仲間たち

採取できたら ☐ にチェックを入れていこう!

オニヤンマ

成虫



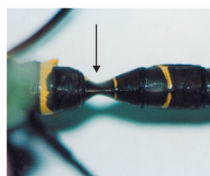
体毛におおわれた幼虫



W型の大きな歯

日本最大のトンボ。体長は、雄は85～90mm、雌は110mm。複眼はエメラルドのような光沢の強い深緑色をしています。幼虫は、体長40～46mmで、頭部は長方形で複眼が前側方に突き出しています。水底の砂泥の中や落ち葉などの下にすんでいます。

コシボソヤンマ



腹部第3節

擬死(ぎし)が得意!

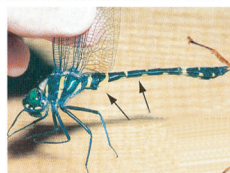
触ると脚をちぢめ、体を固くして死んだまねをします。



体長は78～86mmの大型ヤンマ。昼間は林の中で潜んでおり、ほとんど姿を見せません。6月～9月にかけて早朝と夕方に敏捷(びんしょう)に飛び回ります。腹部第3節がはっきりとくびれており、名前の通り「腰細ヤンマ」です。幼虫は水中の植物の根束や根ざわにつかまって生活しています。

コヤマトンボ

第3節側面の黄色斑が鏡にうつしたし字形で、腹部の中央が細くなっています。



幼虫



体長は、70～77mm、雄は川岸に沿って往復し、なわばりを作ります。幼虫は肢が長く、アシナガゴモのように見えます。

シオカラトンボ



成虫

幼虫



5～6月頃まで田んぼや池で多く見られます。メスはムギワラトンボと呼ばれています。

ハグロトンボ



成虫



幼虫

体長60～66mm。雄は金緑色で、雌は茶色がかっています。幼虫は淡褐色をした細見の大きなヤゴで、水生植物の生える緩やかな流れに生息します。

ミヤマカワトンボ



成虫



幼虫

体長70～78mm。橙色をした大型のトンボです。幼虫は溪流にすみ、触角の第1節が非常に長いです。

オナガサナエ



成虫

長い尾が特徴(雄)



幼虫

体長57～63mm。雄の尾の先が長いことから「尾長サナエ」と名付けられました。幼虫は清流に生息し、翅芽(しが)が八の字状に開いています。

ニシカワトンボ



成虫



幼虫

5月頃山中の暗い環境で多くの個体を見ることがあります。成熟すると川に戻ってきます。

側方に1条濃褐色あり

オジロサナエ



成虫



幼虫

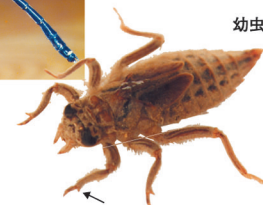
尾が白い

体長40～43mm。きゃしゃで小柄なトンボです。胸部にははっきりしたY字形の黒条があります。

ヤマサナエ



成虫



幼虫

体長64～70mm。胸の第1側縫線に沿った黒条がはっきり上まで達しています。幼虫は前肢と後肢の脛節(けいせつ)端は大きく突き出しています。